



学校便り No.6 指宿市立山川中学校  
令和7年10月31日発行  
発行責任者 校長

## 下半期への期待

校長

間もなく11月（霜月）を迎え、暦では、立冬、小雪へと本格的な冬に進みます。日中の汗ばむ陽気からの急な肌寒さに、秋が短く（遅く）なって、あっという間に冬が到来するという季節感のずれを感じます。

10月9日（木）に生徒会立会演説会を行いました。9月から、選挙管理委員会が中心となって準備を進めてきました。当日は、13名の立候補者が演説を行い、どの候補者もこれまで築き上げられた生徒会活動を土台にして「来たい、温かい学校」「明るく誰もが安心する学校」「笑顔のパワーアップ」等を公約に、学校生活のよりよい改善のための具体として「挨拶運動の展開、校則検討委員会の推進、異学年との交流、情報発信、リーダー会議の実施」等を掲げ、その取組について力強い演説を行いました。今年度、3年生が記した新たな伝統は「新化」でした。創立51周年を迎えた新たな山川中の未来へのバトンを実際に渡しました。その理念は1・2年生に引き継がれ、演説に決意として表れていました。

10月31日（金）に合唱コンクール・文化祭を実施し、取り組んできた学習の成果を発表します。それが終わると、生徒会活動の中心が3年生から2年生に引き継がれ、新体制がスタートします。3年生はいよいよ自分の進路に向かう時期に入り、三者相談を通して、自分を深く見つめ、進路を決定していきます。1・2年生も日々の中で、自己選択、決定を繰り返し、自分の成長と向き合いながら、1、2年後、その時を迎えることになります。年度のまとめに向かう下半期、これまで培ってきた力や思いを、3年生は受験に、1・2年生は新たな伝統づくりにぶつけてほしいです。

幸運は、準備された心に宿る 北川 進 京都大学特別教授

ノーベル委員会は「分子アーキテクチャー」と呼ぶ、微細な物質を入れ込む「※多孔性金属錯体（金属有機構造体：MOF）」の開発に携わった3人（京都大学の北川進特別教授、豪メルボルン大学のリチャード・ロブソン教授、米カリフォルニア大バークリー校のオマー・M・ヤギー教授）にノーベル化学賞を贈った。気候変動対策での二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）回収や化学を利用したプラスチック汚染の削減など、地球規模の大きな問題の解決につながる可能性があると評価した。〔※多孔性：多数の微細な穴（サイズや構造によって、吸着、分離、貯蔵、触媒、保温など様々な機能を発揮する。）、※錯体：金属を含む化合物〕

多孔性金属錯体は、穴の大きさ（分子レベルで）を思い通りに変えられ、特定の気体の閉じ込めや取り出しに利用できるため、燃料電池や食品安全、医療、環境などへの利用が期待される。（BBCニュースから）

偉業を成し遂げ、さらに、それが高く評価されるには、並大抵の努力や苦勞、挑戦ではないことは想像できますが、自分を信じて、揺るぎないビジョンをもち、色々な経験を積むことで困難や苦悩を乗り越え、新たな境地を結実させるのは、想像を絶することです。ただ、この成功は、私たちに生きる上での希望や勇気を与えてくれます。

「幸運は、準備された心に宿る」は、北川 進氏の受賞決定報告を受けての記者会見時の言葉です。受賞の喜びの言葉ですが、長年の挑戦への苦勞に対する成就感や安堵感が感じられます。「新しいことへのチャレンジが醍醐味」「どんな辛い環境も必ずプラスになる。」も印象的な言葉であり、役に立たないように見えるものこそ有益とする荘子の考えの「無用の用」を研究者として大事にしてきたことが語られていました。これらの言葉には、人生訓として学ぶことが多くあり、何か一つでもできることを自分たちの生活のエッセンスとして生かしたいです。

以下に南日本新聞に掲載された北川氏の一問一答について紹介します。

Q：苦勞の経験や成功の秘訣は？ A：「苦勞は限りなくあるが、興味を持って挑戦していく姿勢とビジョンが必要ではないか。」、Q：一番の苦勞は？ A：「論文を発表したら、そんなの本当かという感じで非常にたたかれた。それでも一切揺らがずに進めていこうという気持ちになった。」、Q：子供たちへのメッセージは？ A：「育っていく環境でいろんな経験をするのを大切にしてほしい。将来花が咲く」

挑戦で準備された心を宿し、幸運につなげたいです。

## 1年 山川ふるさと巡り

山川中学校区「いぶ好き『ふるさと学』」の取組の一環として、1年生が山川小学校6年生と合同で『山川巡り』を実施しました。今年度は、鰻池と長崎鼻を散策しました。

鰻池では、指宿市観光協会の御協力のもと、ボランティアガイドさんに案内していただきました。また、スメで蒸かしたサツマイモやジャガイモをおいしくいただきました。



長崎鼻では、自然の雄大さや、龍宮伝説にまつわる歴史や文化について学びました。

地域の歴史や自然にふれることで、指宿山川の魅力を改めて実感することができ、子どもたちにとって有意義な学びの時間となりました。

## 3年 指宿ふるさと巡り

10日（金）、3年生が「ふるさと巡り」の校外活動を行いました。

山川水産加工業協同組合様と田村合名会社様の御協力をいただき、かつお節や焼酎ができるまでの製造工程を見学しました。地元の産業の魅力や職人の技を、五感を通して学ぶことができました。



昼食後は川尻海岸に移動し、オリビン採集を行いました。さわやかな秋空の下で、自然の美しさや恵みを感じる一日となりました。

## 県教職員共助会 公益文化事業 スクールコンサート

24日（金）、指宿市民会館で山川中・開聞中・山川高校の3校合同スクールコンサートが行われ、鹿児島交響楽団によるオーケストラ演奏を鑑賞しました。クラシックや歌劇など、全10曲が披露され、会場は迫力ある音色に包まれました。

「花は咲く」の全体合唱や代表の生徒が指揮者を体験するプログラムもあり、音楽の楽しさや魅力を肌で感じる貴重な時間となりました。



## 受賞おめでとうございます

- 南薩地区総合体育大会  
【女子駅伝競技の部 第3位】  
★ 県駅伝（11/6 会場：指宿市）出場決定！  
【女子3区 第1位】 【女子5区 第3位】

- 南薩地区新人体育大会  
【弓道】 男子団体：優勝 女子団体：優勝  
2年男子個人：第3位  
2年女子個人：第1位  
1年女子個人：第1位



【女子バスケットボール】準優勝

【女子ソフトテニス】  
団体Aパート：準優勝 個人戦：第3位

【軟式野球】 第3位

【サッカー（FC YAMAGAWA）】 第3位

【剣道】 2年個人：第1位 1年個人：第3位

【バドミントン】 共通女子ダブルス：第3位

- 第17回南さつま市長杯争奪中学校新人ソフトテニス大会  
女子団体：第3位 Aチーム

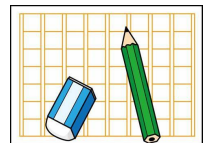
- 南薩地区図画作品展 【特選】 1名

- 指宿市図画作品展  
【特選】 4名 【入選】 17名



- 南薩地区作文審査会 【特選】 1名

- 指宿市作文審査会  
【特選】 1名 【入選】 5名



- 指宿市理科作品展  
【特選】 1名 【入選】 6名

## 11月の主な行事予定

| 月   | 日  | 曜 | 主 な 行 事                 |
|-----|----|---|-------------------------|
| 11月 | 1  | 土 | 地域が育む「かごしまの教育」県民週間（～7日） |
|     | 5  | 水 | 3年進路説明会，学年PTA           |
|     | 8  | 土 | 土曜授業，生徒会引継式             |
|     | 10 | 月 | 学習強化週間（～20日）            |
|     | 11 | 火 | 三者相談，教育相談（～18日）         |
|     | 12 | 水 | 期末テスト前部活動停止             |
|     | 19 | 水 | 2学期期末テスト（～21日）          |
|     | 25 | 火 | 避難訓練（火災）                |
|     | 28 | 金 | 上級学校訪問（2年）              |

※ 変更になることがあります